

警戒レベルと避難のタイミング

警戒レベルと市民の皆さんの行動

災害時には**警戒レベル**に応じて避難のタイミングをお伝えします。

気象状況	警戒レベル	避難情報や私たちが取るべき行動	気象庁などが出す警戒レベル相当の情報
高潮による浸水が発生	5	緊急安全確保 災害が発生または切迫 (必ず発令されるとは限りません) 行動 命が危険な状態。直ちに安全確保! ●警戒レベル5「緊急安全確保」の発令を待ってはいけません ●避難していない人は命を守る最善の行動をとる	●高潮氾濫発生情報 ●大雨特別警報 ●氾濫発生情報
台風最接近の数時間前	4	避難指示 災害のおそれ高い 行動 危険な場所から必ず全員避難! ●危険な場所から必ず全員避難する ●警戒レベル4「避難指示」までに必ず全員避難する	●高潮警報 (または高潮特別警報) ●土砂災害警戒情報 ●氾濫危険情報
暴風域に入る	3	高齢者等避難 災害のおそれあり 行動 高齢者や障がい者、乳幼児などは危険な場所から避難! ●避難に時間のかかる人とその支援者は避難する ●それ以外の人も、必要に応じて自主的に避難する	●高潮注意報 高潮警報に切り替わる可能性が高い注意報 ●大雨・洪水警報 ●氾濫警戒情報
暴風域に入る数時間前	2	大雨・洪水注意報 自らの避難行動を確認 行動 ●ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認する ●避難する場所や持ち出し品など自らの避難行動を確認する	●高潮注意報 ●大雨注意報 ●洪水注意報 ●氾濫注意情報
台風最接近の1日～半日前	1	早期注意情報 災害への心構えを高める 行動 ●最新の気象情報を入手するなど、災害への心構えを高める	●早期注意情報 (警報級の可能性)

浸水深の目安



避難行動の備えと注意点

高潮が予想される際の日頃からの備えと避難行動について考えてみましょう。

避難行動への備え

自宅・学校・職場などの高潮危険度の確認



自宅や学校、職場周辺の災害リスクについて、ハザードマップで確認しましょう。また、地域等で実施する防災訓練に積極的に参加し、参加の際はハザードマップを活用しましょう。

非常持ち出し袋を用意



自宅以外への避難に備え、持ち運べる必要最低限のものを用意しておきましょう。(18ページ参照)

周囲の状況によって避難行動は変わります!

高潮の避難行動には、自宅以外の浸水しない場所へ避難する①「**立ち退き避難(水平避難)**」と、自宅の2階以上または近隣の高くて頑丈な建物へ避難する②「**屋内安全確保(垂直避難)**」があります。

ハザードマップで自宅や職場、学校などが浸水想定範囲内にあるかどうか確認し、避難行動を確認しましょう。



避難行動の注意点



正確な情報を収集
テレビ、ラジオ、インターネットなどで、最新の気象情報、防災情報、避難情報を入手しましょう。



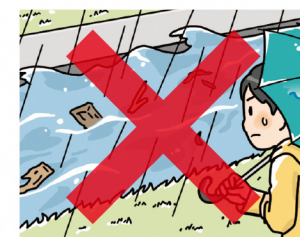
早めの避難が重要
高潮が発生すると、移動手段が無くなるのが予想されます。安全に移動するために早めの避難を心がけましょう。



2人以上で避難する
様々な事態が想定されますので、単独や夜間の移動は避け、できるだけ明るい時間帯に2人以上で避難しましょう。

動きやすい服装で避難

- ヘルメットや帽子などで頭を保護
 - 濡れても安心な服装
 - 両手が使えるリュックにする
 - 軍手などで手を保護
 - 底が厚い運動靴
- 長靴は厳禁!!** 水が入って動きづらく危険です



危険箇所を避ける!
海沿いや、高潮が遡上する河川周辺に近づくのは危険です。絶対に近づかないでください。



歩ける深さに注意!
歩行可能な水深の目安は、大人のひざ下くらい(約50cm)までです。



足もとに要注意!
長い棒や傘などを杖代わりにして水中の安全を確かめながら進みましょう。



逃げ遅れたら… 垂直避難
無理をせず、自宅の2階以上の部屋か、近くの丈夫な建物の2階以上のできるだけ高いところに逃げましょう。